

令和3年 萩市議会 6月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	2	森 田 宗 和	6月14日午前
2	4	小 林 富	
3	15	長 岡 肇太郎	午後
4	8	五十嵐 仁 美	
5	11	松 浦 俊 生	
6	5	瀧 口 治 昭	
7	1	岡 崎 隆 志	6月15日午前
8	18	宮 内 欣 二	
9	17	平 田 啓 一	午後
10	13	関 伸 久	
11	3	浅 井 朗 太	
12	12	美 原 喜 大	6月16日午前
13	14	西 中 忍	
14	7	村 谷 幸 治	午後
15	6	松 浦 誠	
16	10	佐々木 公 惠	

質問順位	1	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 学校給食無料化と少子化対策について	<p>1. 市長は、学校給食無料化を選挙公約されました。子育て支援としては、私も賛成です。しかし、少子化対策にはならないと思います。萩市の出生数は、平成28年度245人、29年度220人、30年度194人、令和元年度179人、昨年度177人に年々減少しています。私は、選挙公約で、第三子以降の支援拡充を訴えました。誕生時、小、中、高校入学時に各20万円、計80万円のお祝い金を支給する。第三子以降の子育てを支援していく内容です。子供が増えますと学校の統廃合や、産婦人科の縮小も阻止できます。何よりも、萩市が元気になります。明るくなります。</p> <p>市長の見解をお聞きします。</p>		
2. 日中サービス支援型グループホームの創設について	<p>1. 2018年度創設されました「日中サービス支援型グループホーム」は、知的障がい者の重度化、高齢化に対する新たな仕組みです。20人までの暮らしの場に加え5人の短期入所を併設して地域で暮らす障がい者の緊急一時的な宿泊の場を提供し、施設等からの地域移行の受け皿や地域生活の安定した支援も行われます。地域生活支援の拠点として、中核的な役割を担うことが期待されています。また、24時間サポートも受けられます。これは、日中支援型に特化されたメリットです。従来の共同生活支援よりも、手厚い世話人の配置とするため、最低基準の5：1をベースに4：1及び3：1の基本報酬が設定されています。この他、看護職員を常勤加算で1名以上配置した場合の加算も創設され、昼夜問わずいつでも常駐スタッフにより24時間サポート、利用者ごとに個別に作られた支援計画は常にアップデートされブラッシュアップされています。従来の共同生活援助よりも手厚くなっています。現在、萩市では、重度の障がい者、高齢化、親亡き後の、対応を求められています。</p> <p>市は、このような「日中サービス支援型グループホーム」を創設、支援できませんか。見解お聞きします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
3. 大屋川に架かる立川橋の橋脚の危険性について	<p>1. 椿地区の大屋川（濁淵、立川地区）では、山陰本線の橋脚は極太一本、市道に係る立川橋は、橋脚が4本立っています。平成11年9月21日午前3時より、椿地区では、1時間80ミリの記録的な大雨が降りました。大屋川の水位が上がり、立川橋の橋脚に流木等が架かりダム化し、最高水位、3m20cmまで上がり、雨水が土手を超え、危険な事態が起きました。その際には、近所の建設業の方が、コンボで流木を取り去り大事には至りませんでした。平成25年、田万川、須佐、大災害では、須佐地区の橋に、流木が架かりダム化し、近隣に膨大な被害を被った経緯があります。また、大屋川の土手では、何年もの間、草刈りをしておりません。木、草等が大きくなっています。大雨が降りますと木が根元から流され土手が崩壊する危険があります。現在、椿地区では、民家、商業施設が多く進出しています。また、田畑が多く萩市でも重要な地域です。大屋川は、天井川です。土手、堤防が決壊しますと市民に多大な損害を及ぼします。</p> <p>市は、このような状況を把握していますか。橋を架け替えする考えはありませんか。</p>
4. 市役所の喫煙室について	<p>1. 現在、萩市役所には、西側に喫煙室があります。「いつも職員がタバコを吸っている。」「仕事はしているのか。」などと市民の方から、ご意見がありました。誤解があると思いますが。そう見るとしたら、職員の喫煙室は別の場所へ設置した方がよろしいのでは。</p> <p>市長の見解をお聞きします。</p>
5. まあーるバスのルート変更について	<p>1. まあーるバスは、椿地区では、ビッグまで来ています。必要なのは、ウエルネスパークまでです。沖原地区、霧口地区は、高齢化が進んでいます。また、ウエルネスパークは、平常ならば、野球、サッカー、武道、ゲートボール等の大会が開催されます。土日には、家族連れが多く利用されています。市民の足としてルート変更が必要だと思いますが、市長の見解をお聞きします。</p>

質問順位	2	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得支援について	<p>1. 農業に従事される方々から大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得したいという声をお聞きします。</p> <p>これは道路運送車両法の基準緩和によって一定の条件を満たせば作業機を装着したトラクター等で走行が可能になった一方、車幅1.7mを超える場合には新たに大型特殊免許（農耕車限定）が必要となったためです。</p> <p>多くの農作業車が聞く限りでは1.7mを上回っており、先日のやまぐち就農支援塾「大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得研修」が開催された際には、翌日申請時にはすでに埋まっている状態でした。</p> <p>新たな取得研修の要望や大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得の講習会実施など農業に従事されている方々が免許取得できる支援策についてお尋ねします。</p>		
2. 空き家バンク有効活用による移住定住の促進について	<p>1. 萩市の空き家バンクは、人口減少が進む本市において令和2年度：28世帯47人・令和元年度：24世帯36人・平成30年度：28世帯47人、と大きな役割を果たしています。</p> <p>二拠点生活やテレワークの普及などから地方への移住相談は萩市でも増加傾向（700件前後から1,200件前後へ）です。一方で、空き家バンクへの登録物件数は横ばいです。</p> <p>空き家バンクは移住のために大きな役割を果たし、移住相談員や移住サポーターなど地域の協力もいただいています。今後の展望を踏まえて質問します。</p> <p>(1) 空き家バンク含む移住定住窓口機能の今後について</p> <p>現在は市役所内に設置されていますが、今後は「旧明倫小学校4号棟」に「萩暮らし案内所」を整備とお聞きしています。これまでの平日の市役所開館時間に限られず、土日営業や時間帯など柔軟な対応が求められますが、いかがでしょうか。また、以前ご提案したように移住者ニーズに応じた専門性が求められるため外部委託や一部民営化を検討してはどうでしょうか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>(2) 空き家の掘り起こしや事前登録の検討について 空き家が増えている実感とは逆に登録物件数が横ばいであるのは、すぐに売買および賃貸できる物件が希少であること、掘り起こしには所有者の特定など課題があるのは承知しています。</p> <p>本来は官民一体となって空き家の掘り起こしが必要だと思いますが、移住支援員や移住サポーターの方々の取り組みについてお聞きします。また、空き家となる以前に事前登録を設けている事例もありますが、空き家の掘り起こしと合わせて未然防止をどのように考えますか。</p>
<p>3. 山口県による集中対策期間の影響と経済対策について</p>	<p>1. 5月18日より新型コロナウイルスの変異株によるクラスターの影響等から医療提供体制への負荷が高まり集中対策が実施されています。</p> <p>当初、5月31日までの予定が隣接県の福岡および広島 の緊急事態宣言が延長されたことから同期間の6月20日まで延長されました。</p> <p>感染防止および希望者へのワクチン接種が最も効果的であると思いますが、緊急事態宣言地域およびまん延防止法等重点措置地域ではないものの、幅広い業種・業態の事業者や被雇用者が影響を受けている声をお聞きします。</p> <p>萩市において影響をどのように認識しているか、また、山口県および萩市による今後の検討についての考えをお聞きします。</p>
<p>4. 文化財の活用による歴史文化観光の取り組みについて</p>	<p>1. 萩市が有する重要な地域資源のひとつは歴史・文化、そして、それを感じる景観や街並みです。アンケートでも高い評価を得ており、保全された景観や街並みは他市との差別化されて付加価値があります。また、萩市には多くの文化財が現存しています。</p> <p>今般、文化財は保存だけでなく継承や維持管理のために</p>

も活用に向けて計画的に取り組んでいくことが目指されています。現在はコロナ禍で人流抑制が求められますが、アフターコロナを見据えた取り組みについてお尋ねします。

(1) 周年に合わせた観光施策、計画的な文化財保存および活用

今年度は伊藤博文生誕180周年を迎えます。その功績は全国でも広く学びますが、萩市には旧宅・別宅が整備されており、松下村塾などその足跡をたどることができます。

昨年には旧宅改修工事の現場見学会が開催され、当時の暮らしや復元技術を見ることができて好評でした。

現在、今年12月末まで工事により一般公開中止ですが、この周年は文化財活用や歴史文化観光に活かせる機会です。周年に合わせた計画的改修や保全計画、そして、旧宅公開の前倒しは出来ないのでしょうか。

(2) 萩博物館の充実とガイド育成について

萩博物館の学芸員数は人口規模で見ると充実していますが、その役割は総合博物館として調査研究に加え、地域密着型かつ観光主要施設と大きなものです。

今後、萩博物館による情報発信や展示内容の充実、そして、学芸員の方々の協力による今後のガイド人材育成を図っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

ガイドが担う役割は大きく、明治日本の産業革命遺産なども全体でのストーリーと合わせてみると時代背景や先人たちの取り組みや志などを感じる一方、単体で見るとその魅力や特徴、観光資源として伝わりづらい点があります。

現在、多くの方のご協力でガイドを担っていただいています。今後は新たなガイド育成や萩博物館との協力や講習会実施が必要と思いますが、いかがでしょうか。

質問順位	3	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 商工行政	1. 相島航路・新船建造計画について		
2. 保健行政	1. 離島（見島地区他）におけるコロナ感染症対策について		

質問順位	4	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 学校のトイレに生理用品の設置を	<p>1. 小・中学校の保健室での生理用品の貸し借りと返却の実態はどうなっているか。</p> <p>2. 文科省によるコロナ禍でのガイドラインに添った対応や支援が行われているか。</p> <p>3. 小・中学校のトイレに生理用品の設置ができるか。</p> <p>4. 相談環境の整備や生理用ショーツの配布はできるか。</p>		
2. 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を	<p>1. 連休後の感染者急増の中での「聖火リレー」実施に問題はなかったか。</p> <p>2. 県実施の高齢者施設等での集中的検査の萩市の状況はどうなっているのか。</p> <p>3. 感染者が出た時に、PCR検査をする範囲の基準は何か。</p> <p>4. 不安があり、PCR検査したい場合、市内でできるのか。</p> <p>5. 県内の医療提供体制が逼迫しているが、市内で感染者が増えた時の病床や宿泊施設は、確保できているか。</p> <p>6. ワクチン接種の予約電話がつながらず接種をあきらめた市民がいるのではないか。対応策はあるのか。</p> <p>7. 長引く自粛要請で、経営困難に陥っている業者や困窮者等への財政支援は、考えているか。(1人1万円)</p>		
3. 小・中学校の給食費の無料化に向けて	<p>1. 無料化に向けた実施スケジュールはどうなっているのか。</p> <p>2. 財源は、どのように確保するのか。</p>		

質問順位	5	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 改正された大雨・洪水警戒レベルの周知及び避難所等の状況について	1. 新たな大雨・洪水警戒レベルの周知について 2. 福祉避難所の確保・運営ガイドラインについて 3. コロナ感染に伴う新規の避難所の指定について		
2. 萩市消防団の定員の充足率及び団員の処遇等について	1. 消防団の定員への充足率について 2. 消防団員の処遇状況について 3. 消防団の活動状況について		

質問順位	6	質問者	瀧口治昭 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 人口減少に対する具体的な施策について	<p>1. 本年3月の市長選挙によって田中文夫新市長が誕生しましたが、新市長の政策、方針はこの度の6月定例会に提案されました議案、所信表明によって、初めて具体的に市政として反映されることになってきたのだと思いますが、田中新市政になって何がどう変わっていくのかが、市民並びに議員にとっても大きな関心事であろうと考えます。その中で市政の方針についてすべて聞くことはできませんが、所信表明の中でも、本市最大の課題と市長もいわれています人口減少問題について、具体的にどのような手段を実施して行かれるのか、特に力を入れていく事業などを考えておられるのかありましたらお聞きしたいと思います。</p>		
2. 地域事業懇話会について	<p>1. 今回の補正予算案の事業として地域事業懇話会の運営についての予算案が提案されていますが、この事業についての市長の思いと、この懇話会の目的なり、目指す方向性についてお聞きします。</p>		

質問順位	7	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 農業の産地を維持するための将来展望について	<p>1. 2020年の最新の農業センサスによる自治体ごとの集計がまだ出ておりませんので、2015年の農業センサスによりますと、萩市の基幹的農業従事者数は2,099人です。5年以上前のデータになりますので参考でしかありませんが、当時の60才以上の割合は88.1%であり、その方々は今現在65歳以上になられているわけです。5年後、10年後、20年後、これまで農業を支えてこられたこの方々が離農されると、残された方々だけで産地を維持していくのは容易ではありません。農政課で把握している萩市内の新規就農者・就業者は令和2年こそ6名でしたが、平成27年～令和元年までは10～17人と二桁に達しています。しかし今の人数では少ないということになります。</p> <p>市長は選挙の公約として、一次産業に力を入れていくことをお約束されておりました。所信表明でも新規就農者・就業者の確保に力を入れていくと仰っています。非常に重要なことではありますが、これは全国的な課題であり、ましてや農業が主要産業の一つである萩市においては当然のことでもあります。</p> <p>産地を守るため、農業を持続可能なものにしていくための市長のビジョンをお聞かせください。</p>		
2. 農業の収益性の向上について	<p>1. 農業で収益を向上させる方法は大きく分けて二つ、①単価のアップ、②収量のアップ、となります。</p> <p>単価をアップするための方法としてはブランド化などが考えられます。</p> <p>山口県には「やまぐちブランド」というものがあり、「萩たまげなす」や「萩相島スイカ」など、萩市の農産品も登録があります。しかしながら、「千石台大根」や「あぶトマト」などは圧倒的な県内シェアを持っているにもかかわらず登録できません。「やまぐちブランド」は登録基準が数値化できるものに限られているからです。一般</p>		

的な野菜を一般的な栽培方法で作ってはいは対象にならないということです。山口県において萩市は最大級の農業の町であり、多種にわたる農産品があります。であるならば、萩市でブランド化を進めることが、野菜单価のアップにつながるのではないのでしょうか。

萩市には、既に萩・阿西商工会による「奥萩ブランド」というブランドが存在します。これは旭、福栄、川上、むつみの4地域の特産品をブランド化しているもので、このような取り組みは非常に重要です。萩市全域のブランドを新たに創設し、統合することで更に効果が高まるものと思います。

調べますと、「萩市萩ブランド再構築プロジェクト作成業務報告書」というものが2019年に公表されております。このプロジェクトの現在の進捗についてお聞かせください。

2. 収量アップのためのスマート農業化・機械化などは先に述べた農業者の高齢化対策や人手不足の補完にもつながります。同時に農地の集積・集約を行うことで更に効果的となります。

スマート農業化・機械化への支援について考えをお聞かせください。

3. また、人・農地プランの実質化についての現状をお聞かせください。

質問順位	8	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市のコロナ対策について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査体制の拡充をすべき時ではないか。 2. 感染確認した人の隔離受け入れ態勢は万全か。 3. 希望する人へのワクチン接種は、いつまでに終了させるか。 4. 隣接する益田市を生活圏とする東部地域への特別の配慮が必要ではないか。 		
2. 市内団体の独立性と補助金について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商工会議所に対する市長発言の法的根拠は何か。 2. 団体の独立性をどう考えるか。 3. 団体への補助金は、運営補助ではなく事業補助というこれまでの原則は生きているか。 4. 団体構成員の思想信条をどう考えるか。 		
3. 萩ビズの存続と産業振興について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実績や取り組みをどう評価しているか。 2. なぜ萩ビズの廃止が必要なのか。 3. なぜ萩市直営ではいけないのか。 4. 萩ビズの存続を要望する市民利用者がかなりいることをどう考えるか。存続させることを考えているか。 5. 産業振興での起業創業、新規事業への取り組みについて 		

質問順位	9	質問者	平田啓一議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 農業振興について	1. 本年度のトビイロウンカ対策について 2. 水田農業の規模拡大について (1) 六次産業化に向けて (2) 持続可能な経営が重要 (3) スマート農業の取り組みについて (4) 「特A」を目指しては 3. 「農村プロデューサー養成講座」に取り組まれては		
2. 子育て支援について	1. 「あそぼ一舎」の安全確保について		
3. 道路行政について	1. 道路景観の維持について		

質問順位	10	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 山陰自動車道の大井・萩区間における阿武川の二重橋について新市長の見解を問う	<p>1. この6月定例会の補正予算では、山陰道（大井・萩道路）の仮称・萩東インターチェンジから中心市街地や観光地への利便性の向上を図るため、アクセス道路を整備するための予算が約4,277万円計上されるなど、山陰道を取り巻く環境の整備が進もうとしている。</p> <p>一方で、同区間の阿武川の架橋を二重橋にし、交通の利便性と周辺地域の活性化を望む声は市民の間でも依然として根強い。</p> <p>前市長はこの二重橋の実現については否定的であったが、新市長はどのように考えているのか。</p> <p>また、今後、山陰道の整備が本格的に始動する中、工事用道路をどのような形で整備し、整備後の工事用道路をどう活用していくかの議論も早急に進めていかななくてはならない。この工事用道路は市民の生活道にもなり得ることから、それぞれの地元住民の理解を得て進めるべきである。今後の方針について訊く。</p>		
2. 市民一人につき一万円の経済支援は実現するのか	<p>1. 先の市長選で田中市長はコロナ禍に喘ぐ市民の経済的支援の一環として、市民一人につき一万円を給付することを表明されている。</p> <p>今なお、収束の目途の立たないコロナ下において、市民は精神的にも経済的にもかなり疲弊している。</p> <p>市長選の時の公約を実行するのか否か、実行するのであれば、その時期はいつになるのかを訊く。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 中小企業者等緊急サポート給付金事業の申込み状況と今後の経済支援策について</p>	<p>1. 「がんばろう萩・中小企業者等緊急サポート給付金事業」について訊ねる。この事業は、新型コロナウイルス感染症の第3波の影響を受け、著しく売上が減少し、安定的な経営に影響を及ぼしている中小企業者等に対し、事業の継続を支援するため、緊急的に給付金を給付するもので、この3月定例会で可決となったものである。</p> <p>売上が前年同月と比較して30%以上減少して初めて給付金が受け取れるもので、比較する期間も単月ではなく3ヵ月の平均値となるため、条件としては厳しく、予算未消化に終わる懸念があるとして、個人としては改善を促し反対したものである。</p> <p>については、直近の申込み状況と予算消化状況について訊く。</p> <p>申込みの状況としては、業種別の給付金の給付状況について詳しく訊ねる。</p> <p>加えて、現在は新型コロナウイルスの第4波が襲来している。近隣の緊急事態宣言の発出状況を見る限り、状況は第3波の時よりも深刻と言わざるを得ない。今後の経済支援策についても訊ねる。</p>

質問順位	11	質問者	浅井朗太議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 高校魅力化支援	1. 萩市内の高等学校への進学希望者数の維持のため、通学という観点から魅力化を図る取り組みについてお尋ねします。全国他市では、駅の待合室を学習室として整備する事例があります。先進事例にならない、本市でも関連団体と連携をとり事業実施を検討されないかお尋ねします。		
2. イージス・アショア配備計画撤回に関する防衛省住民説明会	1. 計画の撤回から1年が経過します。当時、防衛大臣から言及のあった住民説明会の開催が未だ叶っていません。開催要望の進捗についてと現市長の開催へ向けての見解をお尋ねします。		
3. 阿武風力発電事業(案)	1. 全国で300以上の新規風力発電事業計画が申請されています。その中の一つ、阿武風力発電事業計画(案)に対する市長の見解についてお尋ねします。		
4. 市道生野高坂線の拡幅工事について	1. 令和2年から工事の進捗の無い本路線。合併以前から計画があり、用地の取得も済んでいます。隣接する地域を結ぶ重要な路線であり、県道11号線萩篠生線が通行止めの際には迂回路となる機能もあります。地元からも計画通りの事業実施が求められていますが、工事完了へ向けた事業再開の目途についてお尋ねします。		
5. 幼保・小中学校の給食無償化について	1. 無償化する理由と狙いをお尋ねします。また、無償化に踏み切る場合、無償化継続期間をどの程度考えておられるかお尋ねします。		

質問順位	12	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市事業の方向性について聞く	1. 今後の取り組みの方向性を聞く (1) 市報について 月2回にする考えは。 (2) 城下町マラソン10kmの部の復活は。 (3) 砂の芸術祭の復活は。 (4) 生涯学習・生涯スポーツ行政を市長部局へ移す考えは。 (5) この4年間「文化財から人へ」の行政になっていたが、市長の『歴史と文化のまち萩』への思いを聞く。		
2. 市道の管理について	1. 市道中津坂根線の通行止めについて		

質問順位	13	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 今後、どのような市政運営を行うのか	<p>1. 大変に厳しい選挙戦を勝ち抜き市長に就任され、3ヶ月が経ちましたが、多くの市民の関心事は新しい市長がどのような市政運営を行うのかということではないかと思えます。</p> <p>そこで、市長所信表明で述べられた事や選挙戦前後で公約として主張された具体的な施策を含め、今後、どのような市政運営を行っていこうと考えているかお尋ねします。</p>		

質問順位	14	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市内高校魅力化支援について		1. 教育委員会の目標とする「市内高校への進学率80%」が達成できない理由を市長はどのようにお考えですか。	
2. 萩アクティビティパークの運営状況について		1. 各施設の利用状況について 2. テナント料の決定について 3. 施設の老朽化について	

質問順位	15	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 奨学金返済「肩代わり」支援について	1. 市の奨学金制度について 2. 奨学金返還支援事業の取り組みについて		
2. 所有者不明土地について	1. 所有者不明土地の現状と今後の対応について		

質問順位	16	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩医療圏における中核病院形成について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 地域医療構想についての見解、認識について 2. 本市の医療の現状と課題についての見解、認識について 3. 選挙時に言われた中核病院は「ゼロベースで検討」の意味について 4. 5月31日議会全員協議会で示された、市民による新たな検討組織（仮称）「中核病院協議会」の今後の進め方と検討内容、検討期間の考え方について 		
2. 新型コロナウイルス感染症対策について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 本市における新型コロナウイルス感染症の特徴と今後の対策について 2. 新型コロナウイルスワクチン接種の現状について 3. 自力で集団接種会場に赴くことが困難な希望者のための対策について 4. 視覚・聴覚障がい者等の支援について 5. 新型コロナウイルス感染者への支援について 		